

## 高齢者ふれあい実習

1 単位 (必修) 1 年

### Early Exposure to Clinical Practice

關戸 啓子・教授 / 保健学科 看護学専攻 基礎看護学講座, 安原 由子・助教 / 保健学科 看護学専攻 基礎看護学講座

【授業目的】医療福祉施設における職員の活動状況を見学することや、高齢者に接することによって、高齢者に生じている日常生活援助のニーズを知り、高齢者の生活を理解する。また、高齢者に対する接し方や、コミュニケーションの取り方を体験的に学ぶ。

【授業概要】少人数のグループにわかれて、医療福祉施設において、施設を利用する高齢者と直接かかわる実習を行う。実習は夏期集中であるが、前期に事前オリエンテーションを実施するので、それに出席することが必要である。日程は、別途指示する。

【キーワード】高齢者, 医療福祉施設, コミュニケーション

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】『人間関係論』(0.5)

【履修上の注意】原則として補充の実習は行わないので、健康管理を十分行い実習に臨むこと。

【到達目標】

1. 実習にふさわしい態度で自主的に実習に取り組むことができる。
2. 高齢者と良好なコミュニケーションを取ることができる。
3. 高齢者の生活上の援助に対するニーズについて述べられる。
4. 高齢者に必要な援助方法の概要が述べられる。
5. 高齢者に果たす職員の役割の概要が述べられる。

【授業計画】

1. 1 日目 / 実習全体のオリエンテーションと実習施設別のオリエンテーション
2. 2 日目 / 実習施設で高齢者に接する実習を行う
3. 3 日目 / 実習施設で高齢者に接する実習を行う
4. 4 日目 / 実習施設で高齢者に接する実習を行う
5. 5 日目 / 実習グループごとのまとめ、実習成果全体発表会

【成績評価】高齢者ふれあい実習評価表(実習要項内に明示)の項目に従い実習態度、実習への取り組み方、実習記録等によって、総合的に評価する。

【教科書】実習要項をオリエンテーション時に配布する。

【参考書】必要に応じて、その都度紹介する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219877>

【連絡先】

⇒ 關戸 (088-633-9035, [sekido@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:sekido@medsci.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: 毎週水曜日, 金曜日18:00~ 19:00)

⇒ 安原 (088-633-9329, [yasuhara@medsci.tokushima-u.ac.jp](mailto:yasuhara@medsci.tokushima-u.ac.jp)) MAIL

## Early Exposure to Clinical Practice

1 unit (compulsory) 1st-year

Keiko Sekido · PROFESSOR / FUNDAMENTAL NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, Yuko Yasuhara · ASSISTANT PROFESSOR / FUNDAMENTAL NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

**Target** 医療福祉施設における職員の活動状況を見学することや、高齢者に接することによって、高齢者に生じている日常生活援助のニーズを知り、高齢者の生活を理解する。また、高齢者に対する接し方や、コミュニケーションの取り方を体験的に学ぶ。

⇒ Sekido (+81-88-633-9035, sekido@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 毎週水曜日, 金曜日18:00~ 19:00)

⇒ Yasuhara (+81-88-633-9329, yasuhara@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL

**Outline** 少人数のグループにわかれて、医療福祉施設において、施設を利用する高齢者と直接かかわる実習を行う。実習は夏期集中であるが、前期に事前オリエンテーションを実施するので、それに出席することが必要である。日程は、別途指示する。

**Keyword** 高齢者, 医療福祉施設, communication

**Fundamental Lecture** [先行科目]

**Relational Lecture** “Human Relations”(0.5)

**Notice** 原則として補充の実習は行わないので、健康管理を十分行い実習に臨むこと。

**Goal**

1. 実習にふさわしい態度で自主的に実習に取り組むことができる。
2. 高齢者と良好なコミュニケーションを取ることができる。
3. 高齢者の生活上の援助に対するニーズについて述べられる。
4. 高齢者に必要な援助方法の概要が述べられる。
5. 高齢者に果たす職員の役割の概要が述べられる。

**Schedule**

1. 1日目 / 実習全体のオリエンテーションと実習施設別のオリエンテーション
2. 2日目 / 実習施設で高齢者に接する実習を行う
3. 3日目 / 実習施設で高齢者に接する実習を行う
4. 4日目 / 実習施設で高齢者に接する実習を行う
5. 5日目 / 実習グループごとのまとめ, 実習成果全体発表会

**Evaluation Criteria** 高齢者ふれあい実習評価表(実習要項内に明示)の項目に従い実習態度, 実習への取り組み方, 実習記録等によって, 総合的に評価する。

**Textbook** 実習要項をオリエンテーション時に配布する。

**Reference** 必要に応じて, その都度紹介する。

**Contents** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219877>

**Contact**